

てんぎょう 轉敬

2017 7 Jul

平成 29 年 7 月 1 日発行
第 18 卷第 7 号 通算 209 号
編集兼発行人 山本 久男
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺
〒113-0021
東京都文京区本駒込 6 - 6 - 11
☎ 03-5319-3490
FAX 03-5319-3491



題字：水谷日尚上人
Web版

信のとびら

楽しくご奉公

水谷随歎

パートナーが信心を嫌っていたので、いつもケンカが絶えない夫婦がいました。口をつけて出てくるのは、パートナーへの愚痴や不満ばかりです。ご奉公仲間に文句や愚痴ばかり話した所で何も変わりません。その方は、ある

日の御法門を聞いて目が覚めました。「寂光の道しるべ」82頁の「先に感謝の心を口にするると有難い事が起きてくる」「人を敬えば人また我を敬う」「人を軽かろしめれば人また我を軽しめる」を聞いた時です。自分本位な考え方で、

パートナーへ感謝の心がなかった事に気付かされたのです。以来、感謝の言葉や日頃の行動でもパートナーを気遣う事に心掛けられるようになりました。

この改良をキツカケとして、次第に二人一緒にご奉公をさせて頂けるようになったのです。相手の気持ちになつて考え、謙虚な心で接すること、人の気持ちも変えることが出来る、その事に気がついたという訳です。

人は、いつでも平穏で温かい心でいられるわけではありません。世間や周囲への不平不満が募り、人に当たってしまうこともあるでしょう。

すると、自身の心や体に悪影響が及ぶこともあります。さらに、周囲の人にも不愉快な心を伝染させてしまい、ギクシャクした雰囲気となるでしょう。

教区や連合内でこの様な事があれば、ご奉公がうまく運ばなくなるのは当然です。

日々、楽しく過ごすにはどの様な心構えでいればよいでしょうか。人は一人では生活出来ません。必ず誰かの助けが必要です。自分自身が楽しく暮らす為には周囲の人々を無視することは出来ません。ということ、楽しく過ごせるのは周りから楽しくさせて貰っている、と心得るこ

とが大切だということです。それは「謙虚な心」である、ということですよ。

つまり、人の幸福を願って協力し合う信心の精神、これを全ての事に活用できたら素晴らしいではありませんか。その精神でござん公を積極的にすすめることです。それが、信者としての心構えです。

本年度の弘通方針は「教化」です。周囲の信者と協力し合い一丸となつて佛立本旨講の発展、後続者の育成ご奉公に励みましょう。

ご奉公させて頂く仲間同士が楽しいと感じる環境を互いにつくる、それは前にも言ったように、一人で作れるものでは決してありません。嬉しさ楽しさの溢れる場所に人は集ま

ります。もし、自身の周りが嬉しさを欠ける場所だと感じるなら自らを変える努力をしてください。自ずと周囲が変わってくることに気付くと思います。周りを変えてゆくのは一人一人の思いです。お互いの協力があつて、ご奉公はすすんでゆき、信心増進してゆくものです。

「ご奉公を楽しくやろう！」を合言葉に、弘通発展の一助となれる様ご奉公させて頂きましょう。

ご挨拶

今月号より、「轉教」巻頭を担当させて頂きます。タイトルを「信のとびら」として、皆様とご一緒に私たちの進むべき道への扉を開けて行きましょう。



7月のご奉公のすすめ

妙法を信じる信者として一か月間の参詣の苦勞の中から現証利益のよろこびをつかみ出す決意を持ちましょう。誓願を立てて朝参詣をつづける道のりは、寂光参拝に直結しています。

一、随喜轉教について

一寸先は闇の身の上です。妙法を唱えて他人の幸福を願えば、今まくなることが出来る最善の種まきとなつて見えぬ未來を明るく照らすことになります。家族にも他人の幸福を祈る祈願を勧めあいましょう。

二、夏期参詣について

妙法の眞実を証明しようとする日蓮聖人の信仰に畏敬の念をばらい、また、そのご苦心を偲んで一か月間参詣に励もう、という趣旨の報恩ご奉公です。
7月1日(土)から31日(月)までの31日間、勤行は午前7時

7月の寺内行事予定表

1日～7日	開講本旨再興祈願
	朝参詣週間
1日～31日	夏期参詣
1日(土)	開講本旨再興祈願総講
	午前10時半
1日(土)	開講本旨再興祈願
	午前9時半
1日(土)	開講本旨再興祈願
	午前9時半
5日(水)	夏季総回向 御回向・御塔婆申込締切
8日(土)	連合幹事会
	午前9時半
13日(木)	高祖大士御命日総講
	午前10時半
17日(祝)	開導聖人御命日総講

から8時半、御法門は7時45分
からです。日曜日にはご利益談
の発表があります。家族中でお
参詣しましょう。夕方7時まで
お寺は開いています。

三、夏季総回向

7月23日(日)には夏季総回
向が本堂で午前10時より、六角
堂では午後1時より奉修されま
す。ご回向、お塔婆は教区でま
とめて7月5日(水)までに、
寺務所にお申し込み下さい。今
授かっている喜びや健康など
は、両親祖父母のお陰によるも
のと教えて頂いています。先祖
へ心からの「ありがとう」の思
いで志厚くご回向させて頂きま

しょう。

四、日晨上人

祥月御命日法要の予告

8月27日(日)午前10時半よ
り奉修されます。報恩の思いで
将引しあい、お参詣をさせて頂
きましょう。

五、くんげ会・蓮華会

合同御講の予告

8月20日(日)午前10時半よ
り本堂にて奉修されます。次世
代の方々の親睦のチャンスで
す。一人でも新しい仲間が増え
るよう将引し、大勢で参詣させ
て頂きましょう。

23日(日)

夏季総回向法要

午前10時半

本堂 午前十時

六角堂 午後一時

25日(火)

門祖聖人御命日総講

午前10時半

正副教区長会

午後12時半

30日(日)

開講本旨再興祈願

口唱会 午前9時半

若い人の口唱会

午前10時半

31日(月)

夏期参詣終了

夏期供養奉納締切

//



わたくしの迷ひを
捨てまごころに
願へば妙ぞ顕れにける
日叡上人の肉声で
御法門を聴聞



日叡上人祥月御命日法要で、日叡上人の肉声による御法門のスライド放映について、御導師より以下のお話をいただきました。

日叡上人は、大正時代の御弘通を發展させたお方です。御利益が評判になって法が広まり、勢いが盛り上がってきました。その時、上人のお声をなんとか残したいとレコード盤にしました。それを今回、DVD化し、挿絵を入れたり、聞き取りにくい所を文字で補強してもらい、とても分かり易くなりました。御弘通が弘まり始めた頃の驚くべき御利益を記憶に留めてもらいたいものです。それは、腹

膜炎のような重病を、一途にお縋りすることによって治して頂く、そのお縋りする事、必ず治ると信じきってお折伏をする事、その姿、思いが御利益の要点なのです。「お願いしたけど大丈夫かな？」という迷い、^{かんぬき}門が、御信心ではない、だから御利益が頂けないのだという事を、教えて頂きました。

その点をこれからの信行にぜひ活かして、その当時の強烈な御利益と、その喜びで弘まっていた御信心の原点を、再び起こそう！ とご奉公にあたって頂くと有り難い。日叡上人祥月御命日にあたり、そういう思いをもって頂くと嬉しいのです。

スライドの内容はホームページで視聴できます。

楽しかった蓮華会・鍊成会



爽やかに晴れ渡った鍊成会当日の朝、45名の仲間を乗せたバスは出発しました。最初の行き先は北本市にあるグリコピア。お菓子メーカーグリコの工場です。人気のお菓子が次々に包装されて出来上がっていく様子をみんな興味深く見学しました。次に向かったのは、鴻巣市上



谷総合公園です。青空のもと、みんなでご供養をいただきます。その後、レクリエーションを行う予定でしたが、余りの暑さにやむなく断念。しかし、公園に水が流れる遊び場があり、子供さん達から自然に水遊び大会がはじまり大喜び。

特に楽しかったのは、往復のバスの中でのレクリエーション。國分さんと糠谷さんが司会進行で、往路では、到着時間あてクイズ、さらに全員があたるビンゴ大会で大盛り上がり。復路では、國分さんオリジナルの



なぞなどが好評でした。例えば、「洗濯物が一番よく乾く区はどこでしょう？」さて、考えてみてください。みんなとたっぷり遊んだ一日でした。

お教化特集

きょうけ
教化こそ

ほんい
仏様のご本意にかなう道

私たちの本年度のご奉公の重点は「お教化」です。

お教化とは何か、改めて、糠谷信章師に解説していただきました。

少々難しい内容ですが、お教化は、どのようにして成就されるのか、実際の例を見て理解を深め、ご奉公をすすめましょう。

仏様は法華経寿量品に「常に法を説いて無数億の衆生を教化して仏道に入らしむ」と仰せになり、また法師品には「我が滅度の後に能くひそかに一人の為にも法華経の乃至一句を説かん。当に知るべし、是の人は則

ち如来の使ひ云々」と仰せ下されました。法華経の教えを弘め正しい道に導く教化のご奉公は、仏様のお手伝いをさせて頂く事になるのです。教化は仏様の報恩ご奉公です。

お祖師様は種々御振舞御書に

「法華経の肝心諸仏の眼目たる妙法蓮華経の五字、末法の始め一閻浮提にひろまらせ給ふべき瑞相に日蓮さけがけしたり。和党共二陣三陣つづきて迦葉阿難にも優れ、天台伝教にもこえよかし」と私達末弟に力強く応援下され教化のご奉公に一步踏み出すようお導き下さいました。

私達佛立本旨講妙應寺所属教講一丸となって「私にもどうかこの人に妙法蓮華経を唱える喜びを伝えさせて下さい」という、法を弘めようと祈る心を芽生えさせ、実践しましょう。

内に向かつては「信行相続」外に向かつては「下種結縁」のご奉公を常に心がけて頂きたい

のです。

成績を競い合う形ばかりの教化ではありません。当^まに佛立本

旨講妙應寺も時が満ちて、正法を伝え、根本の人助けのご奉公に踏み出す時機が来たのです。

今こそ菩薩行を実践するその時です。

「お教化成就」は報恩ご奉公

此の度、都教区Sさんの従兄のYさんが入信されました。

昨年Sさんのお母さんのTさんの四十九日の法要にYさん夫婦が参詣した時「私も先祖に手を合わせる仏壇が欲しい。そして子供に伝え残して置きたい」という話に答え、Sさんたちは信心をすすめ、正法帰入の御祈願を続けました。

今年の一周年の法要にもYさ

ん夫婦は参詣され、お寺の御宝前の見本を見て「この大きさを私の部屋でも大丈夫」と入信を決意されました。

正法帰入の祈願をかけお縛りすると共に勇気を出して信心をすすめたことが、好由さん夫婦の心に伝わったに違いありません。

皆で参考にさせて頂きましよう。



御導師より御本尊を授与されるYさんご夫妻

本堂護持のため功德箱の活用を

ありがとうございます。

平成29年4月23日には、皆様のお力添えをいただいたおかげで開筵式を無事奉修させて頂く事ができました。誠にありがとうございます。

さて、平成27年9月15日に新本堂の所有権が確定して、早1年9ヶ月が経ちました。20年ローン返済の条件にて建立させ



お講を行う
甲斐の山本
合連席局長
各山

て頂きました。

従来は「新本堂建立 御有志」の名称で勧募させて頂きました
が、本年4月より「本堂護持御有志」の名称で勧募させて頂いております。

是非皆様と共に頂いた新本堂護持の為、精一杯の御有志をさせて頂きましよう。ご家族、特に次世代の方々にもお話しさせて頂き、「功德箱」を活用して、皆で本堂護持をさせて頂きましよう。
ご奉公よろしくお願いたします。

平成29年5月の寺内行事報告

- 1日～7日 開講本旨再興祈願 朝参詣週間
- 1日(月) 開講本旨再興祈願総講 午前10時半より奉修
- 6日(土) 運営会議を午前9時半より開催
- 13日(土) 高祖大士御命日総講を 午前10時半より奉修
- // 連合幹事会を午後12時半より開催
- // 後続者育成連絡会を午後1時半より開催
- 14日(日) 日歡上人祥月御香料・塔婆・参詣人数申込締切
- 17日(水) 開導聖人御命日総講を 午前10時半より奉修
- 21日(日) 蓮華会鍊成会を午前7

長野教区「飯田妙彰親会場」開設

この度、長野教区に新たに「飯田妙彰親会場」の開設が許可され、6月18日(日)開導会第二座に於いて「親会場看板」の授与式



前から三列目左端が山田さん

が行われました。

長野教区山田高志氏がこの親会場の勤行代行師として、講習を受け、6月4日の長野教区特別御講にて御導師より勤行代行師の辞令を下付していただきました。今後の弘通発展を応援させていただきます。

28日(日)	27日(土)	25日(木)	〃	〃	〃
日歓上人祥月御命日法要を午前10時半より奉修	日歓上人祥月御命日法要準備ご奉公を午前9時より開催	門祖聖人御命日総講を午前10時半より奉修	正副教区長会を午後12時半より開催	一地区：1階ホール 二地区：和室 三地区：2階ホール	開講本旨再興祈願口唱会を午前9時半より奉修
					時半より奉修
					若い人の口唱会を午前10時半より奉修

皆さんの支えで

永い間、皆様に主人の応援祈願と、お助行を頂きましてありがとうございます。ありがとうございました。

主人の尽七日忌の前に、今日は甲のお講席を頂いて、御導師に主人のご回向を言上して頂きました。

三七日忌は、乙祥月の席主を頂き、今度、百ヶ日忌も次世代助行の席主を我が家で受けさせて頂くことになっております。

千葉中央教区

Nさん

大勢の御信者さんに、沢山お看経を上げて頂いて、ほんとうにありがとうございました。主人も喜んでいると思います。

お陰様で、主人は今迄に沢山の御利益を頂いて参りました。

六年前に発症した「下咽頭癌^{がん}」を初めとして、甲状腺に依る認知症状、「股関節骨折^{こかんせつこつせつ}」「睡眠中の呼吸不全」の発作、誤嚥^{ごえん}性肺炎^{せいはいえん}での度々の入院と、一つ

また一つと病気に向き合っていました。罪障消滅をさせて頂いたのでしょうか、無事乗り越えることが出来ました。

今回も「肺癌」とはいえ、まったく痛みもなく、念願だった家族の元へ、六日前に退院して参りました。

主人は毎日の朝、夕、夜の御看経を最期までつづけさせて頂いて未明に永眠致しました。

今は、心から感謝しています。この思いを忘れずに、家族一同信行させて頂こうと思います。

写真右は2月22日に78歳でお亡くなりになった信男さん。ご冥福をお祈りいたします。

■私のよろこび

代々のご守護をかえりみて

港教区 Iさん

今年二月に父の十七回忌が無事終わりました。

父は、五十歳の時にくも膜下出血で救急搬送され、病院に着いたとき医師から95%だめですと言われました。

その夜から母の必死のおすがりが始まり、そのかいあって後遺症もなく生還しました。

今までお寺参詣は数回でしたが、亡くなるまでの三十年、休まずにお寺参詣に励み、お参詣が生活の一部になっていました。

父の死後半年経つてから、私は朝の片づけが終わったとき頭の中で、何かプシンという音を感じて、それから気分が悪くな

りました。

その時、母が十七日のお総講にお寺へ行きましよう誘いに来ました。しかし、私の異変に気付いた母がすぐ救急車を呼び病院に運びました。医師よりも膜下出血と告げられたとき、家族は愕然としたそうです。

その夜に手術を受け、意識が戻ったのは二週間後の九月一日でした。

その間、主人は、御宝前のお給仕、お看経と、おすがりの毎日を過ごしたとのことでした。

当時所属していた新宿連合・中野連合の皆さんの熱いお助行を連日頂きました。

ところが、回復の兆しきざしの中、

生死をさまようことが起きました。それは、院内感染でした。

それも、家族、信者さんの必死のお看経で乗り越えることが出来、無事後遺症もなく十月二十五日に退院できました。

こうしてみると、倒れた日が十七日で、意識を戻した日が一日、退院した日が二十五日と、すべてお総講の日でした。

私は守られているのだなと、身をもって感じました。

本当でしたら、もう、亡くなっており、十七回忌を迎えるところでした。こうして元気でご奉公させて頂ける身があります。毎日感謝いたしております。

御題目口唱にお出会いできた喜びを忘れず、御法様より頂いた新しい命に思いを込め、報恩ご奉公に励む思いでいっぱいです。

着々と種まきを

都教区 Sさん

第一地区 都・中里連合 都教区の我が家で後継者育成助手を受けさせて頂きました。

今回は、特にこれからの教区の担い手として、ご信心の継承者として育てたい、新たな命を授かるうとしている長男夫婦のお嫁さんについてお話をさせて頂きます。

まず、お助行での言上は、安楽産福子の祈願や正法帰入と御本尊奉安の祈願等。参加者全員が一生懸命、御題目口唱に励んで下さいました。

お助行のお看経が終わって、お導師をお勤めして下さった根上信浄師から、「出産のときは何が起きるかわからないので、これを機に御信心を勧めなさい。そして、よく御宝前におすがりして、皆さんの応援祈願を頂きなさい。それと、毎日お供水をいただく様に」と、お話がありました。

御講師のお折伏を頂いて、日々の生活を無事に過ごさせて頂くには御宝前の教えを中心に生活をさせて頂くことだ、それ

が信者の一番の幸せと感得させて頂きました。
お助行に参詣された皆さんにも、ご祈願をして頂き、とてもありがとうございました。



開筵式船上祝賀会で、御導師、岩淵千尋教区長(右端)と歓談するSさんご夫妻

★こどもたちの会★

いちねんしんげ 「一念信解」





お知らせ

六角堂の電話番号が変わりました。
新しい電話番号

0476-36-8600



初参り
五月五日

栃木教区荻野目沙菜^{さな}さんが、
お父さん淳^{じゆん}さん、お母さん詩織^{しおき}
さん、祖父晴美^{はるみ}さん、祖母惇子^{じゆんこ}
さん、叔母原昭子^{あきこ}さんと一緒に
初参りされました。

初参り

